

## まずは目の前のことに取り組もう

特定非営利活動法人ヒューマンケア 理事長  
福生市地域福祉推進委員、  
ふっさボランティア・市民活動センター運営委員 副委員長

### 半澤 比呂美 氏(高校41期)

1989年4月 明治大学文学部英米文学専攻  
1995年～現在 大学・看護医療系受験予備校で教室運営・教科指導  
2003年 NPO法人ヒューマンケア設立  
2006年 デイサービスセンターあじさいの運営  
2013年 あじさいリハビリテーション・サービス付き高齢者向け住宅あじさい北田園の運営  
2014年 日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科博士前期課程修了、地域福祉を学ぶ

#### ■卒業後の進路

高校生活では女子バレー部に所属し日々練習に明け暮れていました。委員会では体実に入り、行事にもよく参加し活動していく中で、自分たちで考えて行動することを身に着けたように感じます。洋楽が好きで、将来は英語を使って仕事をしたいと考え、英文科に進学しました。



卒業前の3月にスキーで骨折し、4月から入社できず自宅療養、5月から出勤しましたが、なんと7月に倒産！会社更生法適用となり、入社3ヶ月目にして通常の業務の流れが激変し、新しいフローを作っていく作業に携わりました。この経験から、目的のための手段はいろいろあることや、物事を俯瞰的に見るのが養われたように思います。退職後は、予備校で英語を指導する機会を得ましたが、まさかこれが現在に至る25年も続く『仕事』になるとは夢にも思いませんでした。

#### ■2つのキャリア「福祉」と「教育」

予備校教師になってから現役学生だけでなく、学び直したい社会人や、看護師を目指すシングルマザーの方々に出会いました。その中で、働きながら勉強できる講座を設置したり、奨学金など学費のアドバイスもしました。一方、家庭内では認知症家族介護と育児が同じ時期に発生し、「仕事」「育児」「介護」を続けていくためには充実した介護サービスや、制度に分断されないサポート体制が必要だということに気づき、福祉の仕事に拡充し、互助組織を作りたいと考えようになりました。おかげで、これまでやってきたことが『できること』となり、現在は介護事業の経営と、看護医療系進学ガイダンスの派遣講師として高校で小論文や面接対策の指導をしたり、英語学習アプリ『英語物語』の問題作成や文法チェックを行ったりしています。

#### ■お伝えしたいこと



面接対策で自分の長所や得意なことがわからないときは、「お母さんかお友達に聞いてごらん」と伝えています。自分が簡単にできてしまうことは他人も同じようにできるだろうと思ってしまうため、自分の強みに気づかないことが多いからです。「自分に何が向いているのか」は、自分ではなく他人に見つけてもらうのが一番の近道です。得意なことや上手くできることがあれば、人から頼まれることが多くなります。「自分が好きなこと」と、他人に見つけてもらった「得意なこと」を掛け合わせると『人財』になれると言われていきます。10年後には今、存在しない職業に就いている人もいることでしょう。「為せば成る」…自分の可能性を信じて頑張ってください。